

茨城県学生ビジネスプランコンテスト2023 最終審査 結果一覧

賞名	プラン名	チーム名	所属
最優秀賞（茨城大学 学長賞）	未来にいいもの ほしいもの！ ～美味しいはしっぱで東海村を笑顔に～	HZP(干し芋残渣削減プロジェクト)委員会	茨城大学
株式会社旭物産賞	私たちがつくる未来のカタチ 最終章	水戸農業高等学校 農業研究部B	茨城県立水戸農業高等学校
株式会社アプリシエイト賞	地域が目玉商品をつくろう！ ～第一弾 那珂市芳野バジルでジェノヴェーゼ～	水戸商業高校 ブルーシャーク	茨城県立水戸商業高等学校
株式会社サザコーヒー賞	魅力がないなんて言わせない！ Ibaraki BLUEパフェ	水戸商業高等学校 BLUE labo	茨城県立水戸商業高等学校
株式会社常陽銀行賞	未来にいいもの ほしいもの！ ～美味しいはしっぱで東海村を笑顔に～	HZP(干し芋残渣削減プロジェクト)委員会	茨城大学
株式会社筑波銀行賞	小規模コメ農家を救え！ ～シャインマスカット栽培による所得倍増計画～	水戸農業高校 果樹専攻	茨城県立水戸農業高等学校
株式会社ユーゴー賞	組み立て傘 ～長期的に愛用して、傘ゴミを減らそう～	茨キリ経営学部	茨城キリスト教大学
関彰商事株式会社賞	組み立て傘 ～長期的に愛用して、傘ゴミを減らそう～	茨キリ経営学部	茨城キリスト教大学
ダイードリンコ株式会社賞	組み立て傘 ～長期的に愛用して、傘ゴミを減らそう～	茨キリ経営学部	茨城キリスト教大学
東京海上日動火災保険株式会社賞	Chocolatier Train ～トキ消費からオン消費へ～	水戸農業高等学校 農業研究部A	茨城県立水戸農業高等学校
水戸ヤクルト販売株式会社賞	和菓子でひろがる“まち”づくり 若い世代に和菓子を広めるには？ ～商品開発による地域活性化～	水戸商業高校 商品開発部	茨城県立水戸商業高等学校
オーディエンス賞	未来にいいもの ほしいもの！ ～美味しいはしっぱで東海村を笑顔に～	HZP(干し芋残渣削減プロジェクト)委員会	茨城大学

茨城県学生ビジネスプランコンテスト2023 最終審査進出プラン紹介



第1部 13:10~14:05

第2部 14:15~15:10

地域の目玉商品をつくろう!
～第一弾 那珂市芳野バジルでジェノヴェーゼ～
チーム名 水戸商業高校 ブルーシャーク

所属／茨城県立水戸商業高等学校

メンバー

1年 菊池 暖
1年 石塚 美月
1年 岡部 杏椰
1年 小口 華穂



プラン概要

茨城県那珂市芳野地区は農業がさかんで、農業の推進や地産地消に積極的に取り組んでいます。消費者にはあまり認知されていません。そこで新たな農産物を栽培し、それを利用した特産品を作ることになりました。考えたのが「バジル」です。バジルを地域農家に栽培してもらい、ここでしか買えない加工品を作り、那珂市で構想中の道の駅で販売することを目標にします。合い言葉は「那珂芳野といえばバジル」です。

未来にいいもの ほしいもの!
～美味しいはっぴで東海村を笑顔に～
チーム名 HZP(干し芋残渣削減プロジェクト)委員会

所属／茨城大学

メンバー

4年 大嶺 友菜
4年 磯崎 瑠花



プラン概要

茨城県は、干し芋の生産量が全国1位で代表的な生産地である。その一方で、干し芋の生産過程で排出される残渣は長年の地域課題である。県では干し芋資源循環モデル形成支援事業として約2億円余りの補正予算が与えられるなど喫緊の課題として取り組まれている。そこで私たちは、干し芋残渣の利活用のためレシピ開発をするとともに、教育的視点から、生産者や消費者の意識向上を図ることを目的としたビジネスプランを展開していく。

私たちがつくる未来のカタチ 最終章
チーム名 水戸農業高等学校 農業研究部B

所属／茨城県立水戸農業高等学校

メンバー

3年 玉野 笑子、3年 板橋 仁美
3年 株木 良輔、2年 松本 紗葵
2年 宮本 泉希、2年 藤枝 亮
2年 諸澤 翔、1年 照沼 瑠七



プラン概要

食品ロスをなくしたい!!
捨てられるイチゴを見て、「もったいない」から始まった私たちの活動の最終章。
商品開発から始まり、農福連携、児童福祉、食育活動など、さまざまなことにチャレンジし、みなさんに応援していただいた「イチゴの生パスタ」。しかし、活動の中で見えてきたジレンマや葛藤、そして矛盾。
真の「食品ロス削減」には何が必要なのか、3年間「食品ロス削減」に向き合ってきた私たちの最終プランです。

魅力がないなんて言わせない!
Ibaraki BLUEパフェ
チーム名 水戸商業高等学校 BLUE labo

所属／茨城県立水戸商業高等学校

メンバー

3年 石金 あい
3年 宇津宮 愛祐
3年 直井 颯夏
2年 飛田 歩
2年 平塚 礼菜



プラン概要

茨城県は魅力がたくさんあるのに、魅力度ランキング最下位の残念な県です。もどかしさを感じた私たちは、県オリジナル品種のフルーツを使ったオリジナルパフェを商品開発して、魅力を発信したいと思いました。パフェのコンセプトは「みんなを元気にハッピーに」。国営ひたち海浜公園のネモフィラから、コンセプトカラーはブルーにしました。「Ibarakiブルーパフェ」を食べてもらい茨城県を好きになってもらいたいです。

和菓子でひろがる“まち”づくり
若い世代に和菓子を広めるには?
～商品開発による地域活性化～
チーム名 水戸商業高校 商品開発部

所属／茨城県立水戸商業高等学校

メンバー

3年 仲居 凜菜
3年 青木 優佳
3年 鐵 凜澄
3年 吉澤 哩彩子



プラン概要

「和菓子離れ」この言葉を聞いた事がありますか?
和菓子が若い世代を中心に衰退している現実を知り、私たち「和菓子大好き商業高校生」が“作る”・“知る”・“愉しむ”をもとに、和菓子の新たな魅力の発見や、文化の伝達と継承、魅力の発信を行います。若い世代をターゲットにした新しい和菓子の商品開発を通じたPR活動を行うことで、地元水戸市の活性化に貢献し、にぎわいあふれる“まち”づくりに発展させていきます。

Chocolatier Train
～トキ消費からオシ消費へ～
チーム名 水戸農業高等学校 農業研究部A

所属／茨城県立水戸農業高等学校

メンバー

3年 小野澤 楓華、4年 市毛 絢
3年 竹内 悠莉、3年 鈴木 優海
3年 福田 亜弓夢、2年 堤 拓也



プラン概要

水郡線を元気にしたい!!
私たち水農生の多くが通学に利用している水郡線が、利用者の減少により存続の危機に!
そこで、私たちは、水郡線の利用者を増やすため、特産品の開発による「モノ消費」から、体験を軸とした「コト消費」、そして時間の流れを楽しむ「トキ消費」に加え、水郡線の各駅を「押し」てもらう「オシ消費」を新たに提案。
乗客と地元が一体となることで水郡線を盛り上げ、地域に活力をもたらしたい。

組み立て傘
～長期的に愛用して、傘ゴミを減らそう～
チーム名 茨キリ経営学部

所属／茨城キリスト教大学

メンバー

3年 稲毛 真衣
3年 熊谷 美咲



プラン概要

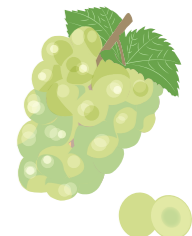
ゴミの排出量の削減と、オリジナルの物が欲しいという欲求の両方を満たす商品として「組み立て傘」を考えた。この「組み立て傘」は、壊れたパーツのみを取り替えることが出来る、オーダーメイドができることを主な特徴としている。加えて、持ち手の調節機能、UVカット加工などを組み込むことで、より多くのニーズに応えていく。将来展望として、傘アートでの地域おこし、完全オリジナル傘事業の着手も検討している。

小規模コメ農家を救え!
～シャインマスカット栽培による所得倍増計画～
チーム名 水戸農業高校 果樹専攻

所属／茨城県立水戸農業高等学校

メンバー

3年 松井 七海
3年 三浦 虹香
3年 宮田 絵梨奈
3年 三輪 優月
3年 穴戸 杏名



プラン概要

小規模コメ農家を助けたい!!
資材費等高騰により、全体の84%を占める3ha未満の小規模コメ農家の経営は非常に苦しい。経営を安定させるには15haの土地が必要だと言われているが、農地が分散傾向にある日本では、これ以上の大規模化は望めない。そこで、設備投資費をかけずに、収益を上げる経営モデルを構築することが、日本の「農」を守ることに繋がると考え、シャインマスカット栽培を導入したプランを考案した。